



取扱説明書

KIIシリーズ 直交軸ギヤードタイプ 端子箱付タイプ



はじめに

■ お使いになる前に

製品の取り扱い、電気・機械工学の専門知識を持つ有資格者が行なってください。お使いになる前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本文中の警告・注意・重要に記載されている内容は、必ずお守りください。この製品は、一般的な産業機器への組み込み用として設計・製造されています。その他の用途には使用しないでください。この警告を無視した結果生じた損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ 規格・CEマーキング

- UL規格、CSA規格、CCC(中国強制製品認証制度)の認証を取得しています。
- モーターは低電圧指令にもとづいて CEマーキングを貼付しています。

詳細は 4 ページに記載しています。

■ 有害物質

RoHS指令(2011/65/EU)の規制値を超える物質は含有していません。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損傷を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してからお使いください。



警告

この警告事項に反した取り扱いをすると、死亡または重傷を負う場合がある内容を示しています。

- 爆発性雰囲気、引火性ガスの雰囲気、腐食性の雰囲気、可燃物のそばでは使用しないでください。火災・感電・けがの原因になります。
- 設置、接続、運転・操作、点検・故障診断の作業は、適切な資格、知識を有する人が行なってください。火災・感電・けがの原因になります。
- 通電状態で移動、設置、接続、点検の作業をしないでください。電源を切ってから作業してください。感電の原因になります。
- モーターはクラス I 機器です。設置するときは、モーターに触れないようにするか、接地してください。感電の原因になります。
- 電源入力電圧は、定格値を必ず守ってください。火災・感電の原因になります。
- 接続は接続図にもとづき、確実に接続してください。火災・感電の原因になります。
- リード線(ケーブル)を無理に曲げたり、引っ張ったり、はさみ込んだりしないでください。火災・感電の原因になります。
- 停電したときは、電源を切ってください。停電復旧時にモーターが突然起動して、けが・装置破損の原因になります。
- モーターを分解・改造しないでください。感電・けがの原因になります。



注意

この注意事項に反した取り扱いをすると、傷害を負うまたは物的損害が発生する場合がある内容を示しています。

- モーターの仕様値を超えて使用しないでください。感電・けが・装置破損の原因になります。
- 運転中および停止後しばらくの間は、モーターに触れないでください。モーターの表面が高温のため、やけどの原因になります。
- モーター出力軸やケーブル(リード線)で製品を持ち上げないでください。けがの原因になります。
- モーターの周囲には、可燃物を置かないでください。火災・やけどの原因になります。
- モーターの周囲には、通風を妨げる障害物を置かないでください。装置破損の原因になります。
- モーターは過熱保護装置を内蔵していません。外部に保護装置を設けてください。
- 運転中は回転部(出力軸)に触れないでください。けがの原因になります。
- 異常が発生したときは、ただちに電源を切ってください。火災・感電・けがの原因になります。
- モーターは、正常な運転状態でも、表面温度が 70 °C を超えることがあります。運転中のモーターに接近する可能性があるときは、図の警告ラベルをはっきり見える位置に貼ってください。やけどの原因になります。
- 製品は、法令または自治体の指示に従って、正しく処分してください。



警告ラベル

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、製品の取り扱い方や安全上の注意事項を示しています。

- 取扱説明書をよくお読みになり、製品を安全にお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

準備

■ 製品の確認

次のものがすべて揃っていることを確認してください。不足したり破損している場合は、お買い求めの支店・営業所までご連絡ください。

- ギヤードモーター..... 1 台
- 六角穴付ボルトセット..... 1 セット
(六角穴付ボルト、平座金、ばね座金:各 4 個)
- 平行キー..... 1 個
- 安全カバー..... 1 個
- 取扱説明書(本書)..... 1 部

■ 品名の確認

製品が正しいか、製品に表示された品名で確認してください。品名の □ には、ギヤヘッドの減速比を表わす数字が入ります。

● 中空軸タイプ

品 名	認証取得品名 *
4IK30VJST2-GHR□S	4IK30VHP-JST2
4IK30VEST2-GHR□S	4IK30VHP-EST2
5IK40VJST2-GHR□S	5IK40VHP-JST2
5IK40VEST2-GHR□S	5IK40VHP-EST2
5IK100VJST2-GHR□S	5IK100VHP2-JST2
5IK100VEST2-GHR□S	5IK100VHP2-EST2
7IK200VJST2-GHR□S	7IK200VHP-JST2
7IK200VEST2-GHR□S	7IK200VHP-EST2
7IK200VEUT2-GHR□S	7IK200VHP-EUT2

* UL規格、CSA規格認証品名

設置

■ 設置場所

風通しがよく、点検が容易な次のような場所に設置してください。

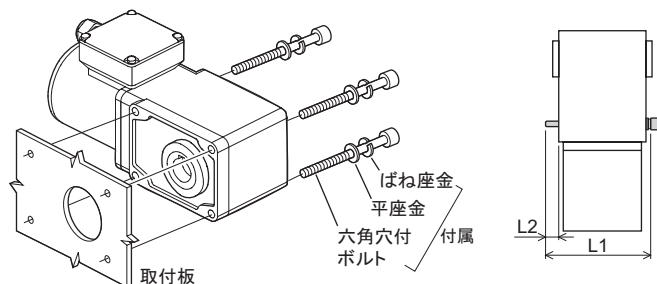
- 屋内
- 使用周囲温度 0 ~ +40 °C(凍結しないこと)
- 使用周囲湿度 85%以下(結露しないこと)
- 爆発性雰囲気、有害なガス(硫化ガスなど)、および液体のないところ
- 直射日光が当たらないところ
- 塵埃や鉄粉などの少ないところ
- 塩分の少ないところ
- 油(油滴)および薬品がかからないところ
水滴がかかる場所でも使用できます。
ただし、水中、水圧が高いところでは使用しないでください。
- 連続的な振動や過度の衝撃が加わらないところ
- 電磁ノイズ(溶接機、動力機器など)が少ないところ
- 放射性物質や磁場がなく、真空でないところ
- 標高 海拔 1000 m以下

重要

ギヤヘッドからまれにグリースがにじみ出ることがあります。グリース漏れによる周囲環境の汚染が問題となる場合には、油受けなどの損害防止装置を取り付けてください。グリース漏れでお客様の装置や製品などに不具合を発生させる原因になります。

■ モーターの設置

取付板にねじ穴加工し、六角穴付ボルトセット(付属)でモーターを取付面に固定してください。出力軸ボス部が **4IK**は $\varnothing 50_{-0.039}^0$ mm(h8)、**5IK**は $\varnothing 58_{-0.046}^0$ mm(h8)、**7IK**は $\varnothing 66_{-0.046}^0$ mm(h8)に仕上がっています。心出しの際の案内にしてください。



品名	六角穴付ボルト(材質:ステンレス)			締付トルク
	呼び	L1	L2	
4IK	M6	100 mm	11 mm	5 N・m
5IK	M8	110 mm	8 mm	12 N・m
7IK	M10	135 mm	10.5 mm	24 N・m

* 付属の六角穴付ボルトセットを使用した場合

重要

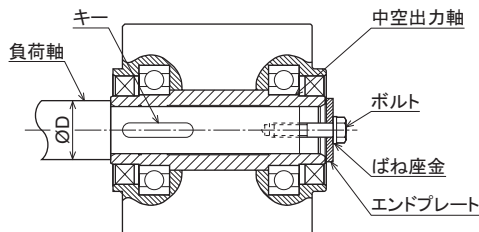
- ギヤヘッドのフランジ面を使用して装置に取り付けるときは、中空出力軸内径部と負荷軸の心出しが必要です。心出しの同心度は 0.02 mm 以下にしてください。心出しが不十分な場合、ギヤヘッド内部の軸受が破損する原因になります。
- ギヤヘッドをモーターから取り外さないでください。

■ 中空軸タイプの負荷の取り付け

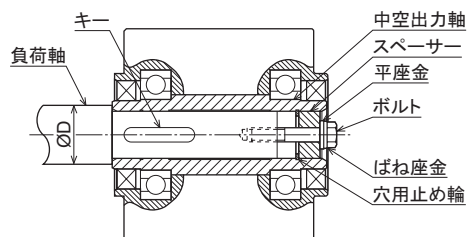
負荷軸の形状によって負荷の取付方法が異なります。下図を参照してください。中空出力軸は、内径公差を H8 に仕上げ、負荷軸を取り付けるためのキーマゾ加工を施しています。負荷軸の公差は h7 を推奨します。また、焼き付きを防止するため、負荷軸の表面や中空軸の内径部にグリスを塗布してください。

● 負荷軸が段付形状の場合

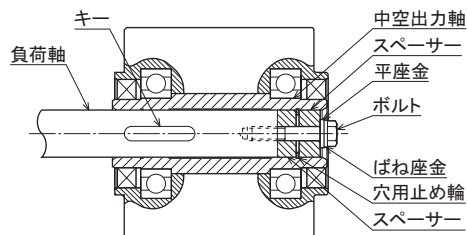
エンドプレートを使用した固定方法



穴用止め輪を使用した固定方法



● 負荷軸が段付形状でない場合



重要

負荷軸を中空出力軸に挿入するときは、中空出力軸に衝撃が加わらないようにしてください。ギヤヘッド内部の軸受が破損する原因になります。

● 負荷軸の推奨取付寸法

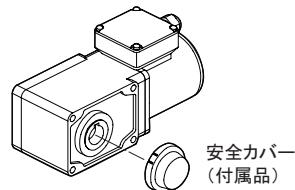
単位: mm

品名	4IK	5IK	7IK
中空出力軸内径 (H8)	$\varnothing 18_{-0.018}^{+0.027}$	$\varnothing 25_{-0.021}^{+0.033}$	$\varnothing 30_{-0.021}^{+0.033}$
負荷軸軸径 (h7)	$\varnothing 18_{-0.018}^0$	$\varnothing 25_{-0.021}^0$	$\varnothing 30_{-0.021}^0$
ボルトサイズ	M5	M6	M8
穴用止め輪呼び径	$\varnothing 18$ C型止め輪	$\varnothing 25$ C型止め輪	$\varnothing 30$ C型止め輪
段付き軸外径 $\varnothing D$	$\varnothing 30$	$\varnothing 40$	$\varnothing 44$
スペーサー厚	4	6	6
エンドプレート厚	3	4	5

- 負荷軸を取り付けるための穴用止め輪、スペーサー、ボルトなどは、付属していません。お客様にてご用意ください。

● 安全カバーの取り付け

負荷を取り付けた後は、安全カバーを取り付けてください。安全カバーを取り外すときは、先端が平らなプラスチック製の棒を安全カバーの切り欠きに差し込んで外してください。



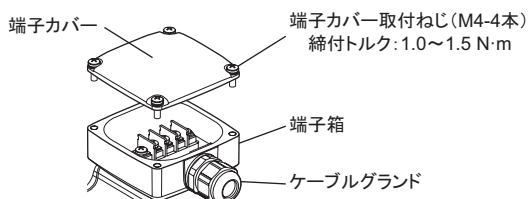
接続および運転

モーターは保護接地端子を使って接地してください。

■ 端子箱への接続

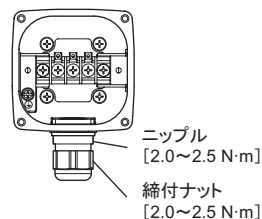
接続手順

- 端子カバー取付ねじを緩め、端子カバーを端子箱から取り外します。
- ケーブルをケーブルグラントに通し、リード線を端子台に接続します。接地用リード線は保護接地端子に接続します。
- 端子カバーを端子箱に取り付けます。



ケーブルグラントにケーブルを通す

ケーブルグラントにケーブルを通すときは、締付ナットを緩めてください。端子台へ接続後、締付ナットを回してケーブルを固定してください。



[] 内は締付トルクの値です。

端子台への接続

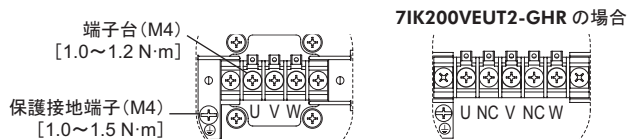
- 端子台に接続するときは、次のような圧着端子をご使用ください。



- 端子箱内の保護接地端子Ⓜを使って接地してください。

端子箱内部

U、V、Wの表示は端子台側面にあります。



[] 内は締めトルクの値です。

- ケーブルは次の仕様のものをお使いください。
適用ケーブル径: $\varnothing 7 \sim \varnothing 13$ mm
適用リード線: AWG18 (0.75 mm^2) 以上
オプションで接続用のケーブルをご用意しています。詳しくはカタログをご覧ください。
- 端子カバー合わせ面のOリングは、脱落しないような構造になっていますが、万一外れた際は端子カバー溝部にしっかりと装着してください。

重要

- 端子箱のシール性を保つため、適用ケーブル径とねじ締めトルクを守ってください。
- モーター外部に露出したケーブルは、ストレスが加わらないように固定してください。

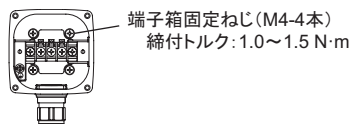
ケーブル引き出し口の位置変更

端子箱の取り付け方向を変えることで、ケーブル引き出し口の位置を左右 90°または 180°に変更できます。

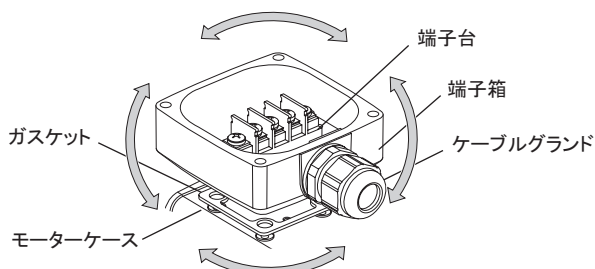
変更するときは、取り付け側の装置に合わせ、ケーブル引き出し口の位置を決めてください。

変更手順

- 端子カバー取付ねじを緩め、端子カバーを取り外します。
- 端子箱固定ねじを緩め、端子箱をモーターケースから取り外します。



- 端子箱のケーブル引き出し口を、出荷時の固定位置から左右 90°または 180°端子箱ごと回転させます。



重要

- 装着されているガスケットは必ず使用してください。
- 端子箱とモーターケースの間に異物をはさみ込まないように組み付けてください。

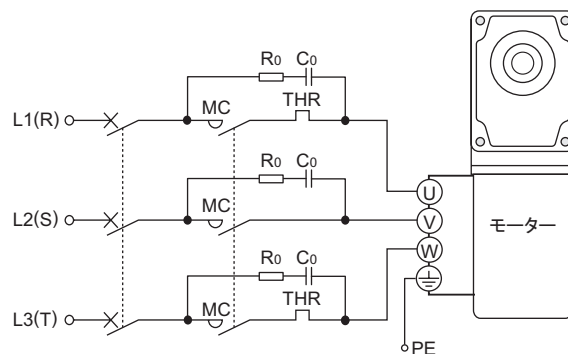
■ 接続図



モーターは過熱保護装置を内蔵していません。過負荷や出力軸が拘束されたときにモーターの焼損を防ぐため、電磁開閉器をご使用ください。(詳細は 4 ページを参照)

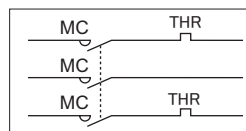
図は、電源に直接接続する場合の接続図です。

R、S、Tのいずれか 2 線を入れ替えると、反対の方向に回転します。



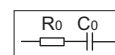
[電磁開閉器]

MC: 電磁接触器
THR: サーマリレー



[サージ電圧対策]

サージ電圧吸収用 CR回路を接続してください。



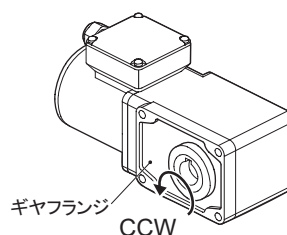
- モーター定格電圧 200 ～ 240 V の場合
 $R_0 = 5 \sim 200 \Omega$
 $C_0 = 0.1 \sim 0.2 \mu\text{F}$ 250 VAC
当社でもオプション(別売)として用意しています。
- モーター定格電圧 380 ～ 415 V の場合
 $R_0 = 5 \sim 200 \Omega$
 $C_0 = 0.1 \sim 0.2 \mu\text{F}$ 450 VAC

● 回転方向

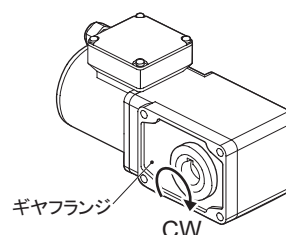
- お使いになるモーターの減速比を確認してから接続してください。
減速比によって出力軸の回転方向が異なります。接続図のように接続すると、次のように回転します。

出力	減速比	出力	減速比
30 W 100 W	5 ～ 120	30 W 100 W	150 ～ 240
40 W	15 ～ 120	40 W	150 ～ 240
200 W	5 ～ 60	200 W	75 ～ 240

[反時計方向]



[時計方向]



図は、ギヤフランジの取付面から見た回転方向を表しています。
時計方向を CW、反時計方向を CCW としています。

■ 運転

電源を投入するとモーターが回転します。

重要

- モーターを運転するときは、モーターケース温度を 90 °C 以下に抑えてください。90 °C を超えて運転すると、モーターの巻線やボールベアリングの寿命が短くなります。
モーターケースの温度は、温度計、サーモテープ、熱電対などで確認してください。
- 周囲温度が低いと、オイルシールやグリースの粘性によって負荷トルクが増加し、起動に時間がかかったり、回転速度が低下することがあります。しばらく運転を続けるとオイルシールやグリースがなじみ、通常の回転速度で運転できるようになります。

過負荷・拘束時の焼損保護

■ 電源に接続する場合

- 電磁開閉器を必ず接続してください。
電磁開閉器は、電磁開閉器の取扱説明書にしたがって接続してください。
- サーマルリレーの整定電流は、モーターの定格電流を設定してご使用ください。
モーターの定格電流は銘板に記載されています。
- 電磁開閉器は、次の製品、または相当品を使用してください。

[富士電機機器制御株式会社製]

モーター出力		品 番
30 W、40 W		SC11AAN-□10TD
100 W		SC11AAN-□10TH
200 W	電圧 200 V ～ 240 V	SC11AAN-□10TK
	電圧 380 V ～ 415 V	SC11AAN-□10TH

● 品番の□には、コイルコードを表わす記号が入ります。
モーターの定格電圧を満たしているコイルコードの製品をお使いください。

定格電圧		コイルコード
50 Hz	60 Hz	
200 V	200-220 V	2
200-220 V	220-240 V	M
220-240 V	240-260 V	P
346-380 V	380-420 V	S
380-400 V	400-440 V	4
415-440 V	440-480 V	T

[三菱電機株式会社製]

モーター出力		品 番
30 W、40 W		MSO-T10 0.24A 200V AC200 V
100 W		MSO-T10 0.5A 200V AC200 V
200 W	電圧 200 V ～ 240 V	MSO-T10 0.9A 200V AC200 V
	電圧 380 V ～ 415 V	MSO-T10 0.5A 400V AC400 V

■ インバータに接続する場合

ご使用になるインバータの取扱説明書にしたがって、電子サーマルを必ず設定してください。設定しない場合、焼損の恐れがあります。

インバータとの使用について

インバータと接続して使用する場合は、次の設定をインバータで行なってください。
駆動するときは、設定周波数を **4IK**、**5IK**は 80 Hz以下、**7IK**は 100 Hz以下で
お使いください。

■ モーターに関する設定

電子サーマル	モーターへの印加電圧とベース周波数(基底周波数)に 応じて、製品の銘板に記載された定格電流値を設定して ください。
適用モーターの設定	定トルクモーターまたはインバータモーター
モーター容量	モーター定格出力 設定値にない場合は、一番近い値に設定してください。
モーター極数	4 極

■ インバータと使用する時の注意点

インバータへの入力電圧は 240 V以下で使用してください。ただし、**7IK200VEU**は
415 V以下で使用してください。これらの電圧を超えて使用するとモーター巻線の絶縁
が劣化して、破損する原因になります。

時間定格

連続運転が可能です(連続定格)。

故障の診断と処置

モーターの運転操作が正常に行なえないときは、この項をご覧になり、適切に処置し
てください。それでも正常に運転できないときは、最寄りのお客様ご相談センターに
お問い合わせください。

現 象	確認内容
モーターが回転しない。 モーターが回転したり、 しなかったりする。	● 電源電圧を確認してください。 ● 電源を正しく接続してください。 ● 端子台や圧着端子を使用している場合、接続不良 になっていないか確認してください。 ● 負荷を許容値以下にしてください。
指定した方向とは逆に 回転する。	● ギヤヘッドの減速比によって接続が異なります。 ● 回転方向は、出力軸側から見た場合です。 見る方向を確認してください。
モーターが異常に熱くなる。 (モーターケースの温度が 90 °Cを超えている)	● 電源電圧を確認してください。 ● 換気条件を見直してください。

規格・CEマーキング

- UL規格、CSA規格、CCC(中国強制製品認証制度)の認証を取得しています。
- モーターは低電圧指令にもとづいて CEマーキングを貼付しています。

■ UL規格、CSA規格、CCC

適用規格	認証機関／ファイル No.
UL 1004-1	UL /
CSA C22.2 No.100	UL File No.E62327
GB/T 12350	CQC

- 耐熱クラス: 130(B)

■ 低電圧指令

● 適用規格

EN 60034-1、EN 60034-5、EN 60664-1

- 設置条件(適用規格 EN規格)

過電圧カテゴリーⅡ、汚損度 3、クラスⅠ 機器
機器によって過電圧カテゴリーⅢの規定値が要求される場合は、絶縁トランスを介して
モーターに定格電圧を給電してください。

● モーターの温度上昇試験

規格で要求される温度上昇試験は、ギヤヘッドの代わりに放熱板付の状態で行なっています。
放熱板のサイズ、材質は以下のとおりです。

[サイズ] **4IK30**: 135×135 mm
5IK40: 165×165 mm
5IK100: 200×200 mm
7IK200: 230×230 mm
[厚 さ] 5 mm
[材 質] アルミニウム合金

- この取扱説明書の一部または全部を無断で転載、複製することは、禁止されています。
- 取扱説明書に記載されている情報、回路、機器、および装置の利用に関して産業財産権上の問題が生じても、当社は一切の責任を負いません。
- 製品の性能、仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書には正確な情報を記載するよう努めていますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどにお気づきの点がございましたら、最寄りのお客様ご相談センターまでご連絡ください。
- ***Oriental motor*** は、日本その他の国におけるオリエンタルモーター株式会社の登録商標または商標です。

© Copyright ORIENTAL MOTOR CO., LTD. 2016

2017 年 6 月制作

オリエンタルモーター株式会社

お問い合わせ窓口 (フリーコールです。携帯・PHSからもご利用いただけます。)		
総合窓口 受付時間 平日/8:00 ～ 20:00、土曜日/9:00 ～ 17:30 東 京 TEL 0120-925-410 FAX 0120-925-601 名古屋 TEL 0120-925-420 FAX 0120-925-602 大 阪 TEL 0120-925-430 FAX 0120-925-603	技術的なお問い合わせ・訪問・お見積・ご注文 お客様ご相談センター	
	故障かな?と思ったときの 検査修理窓口 アフターサービスセンター 受付時間 平日/9:00 ～ 18:30 TEL 0120-911-271 FAX 0120-984-815	

WEBサイトでもお問い合わせやご注文を受け付けています。 <http://www.orientalmotor.co.jp/>